

1. タイトル



全ての子どもと地域の人々を包み込み、つなぐ
【中野区 絵本のライブラリー&ラウンジ“loop”】

私たちは、中野セントラルパークイースト賃借床にて中野区と絵本を組み合わせた事業を行うことで、子どもと地域の人々に開かれた地域の学びと憩いの場をつくることを目指します。

2. 事業全体のコンセプト

「絵本を通して子どもと大人が集い、
新しい世界や知識に出会い、創造力を育むことで
心豊かな中野の町を創る」

洗練された文章と絵で織りなされる「絵本」は、年齢や世代を超えて共有されている文化芸術の一つです。子どもにとって、絵本は読書習慣や創造力を育むきっかけとなります。大人にとっては「絵本の余白」が想像力をかき立てると同時に、多くの情報に囲まれた生活の中で、絵本の世界に触れることで小休止することもできます。また、絵本にまつわるイベントや講座は世代を超えて人々が集い、絵本をきっかけにコミュニティが生まれることが期待できます。

中野区 絵本のライブラリー&ラウンジ“loop”（ループ）は、この絵本の持つ魅力に着目した、絵本1万冊を配架する会員制の施設です。絵本のテーマが多様多様であるように、“loop”はあらゆる地域の方が利用できるインクルーシブな事業を行います。絵本をゆっくり読めるほか、絵本をテーマに展開されるイベントや講座に参加する、障がいを持つ方が安心して過ごす、工作やVR体験を楽しむ等、過ごし方はさまざまです。また利用者も、放課後に立ち寄る子ども達、育児中のお父さん・お母さんとその赤ちゃん、近隣で働いている方等、あらゆる方々の受け皿となり、“loop”が中野区の地域の方々のサードプレイスとなることを期待します。

3. 4つの機能のコンセプト

中野セントラルパーク賃借床活用方針や関連計画等を踏まえ、「情報発信」「地域交流」「文化芸術の振興」の3つの機能と、「子育て先進区」の実現に寄与する「子育て支援」、計4つの機能に基づいた事業を行います。

各機能のコンセプト

該当するエリア名称

① 中野区を知る、世界を知る【情報発信機能】

中野区のローカルな情報から、世界各国の絵本まで、誰もが自由に情報を得られる地域の「共有本棚」のような場所を目指します。入口付近には会員以外の方も立ち寄ることができるエリアを設け、中野区に関する情報や魅力の発信を積極的に行い、地域住民のシビックプライドを醸成します。また内容やターゲット層別にさまざまな絵本や本を配架し、多様性に富んだ情報発信を行います。

なかのループ
せかいループ
ベビーループ
インクルーシブループ
(障がい者向け絵本等)

② 絵本に囲われた空間に集う【地域交流機能】

フロアの中心には開放的な「ラウンジスペース」を設け、絵本に関するイベントや講座を開催し地域交流を促進します。子どもから高齢者まで、多様な世代が参加したくなるようなイベントを企画します。また飲食をしたり、区民団体や地域のボランティアが活動したりすることができる「多目的ルーム」を設けます。

ラウンジスペース
多目的ルーム

③ 文化芸術に触れる、そして体験する【文化芸術の振興機能】

中野区にまつわる文化芸術本や世界各国の文化芸術にまつわる絵本を配架します。特に入口を入って左側の壁面は「なかのギャラリー」として、中野区にまつわる展示や地域住民による展示を行います。また絵本を読む・知識を得るなどのインプットだけでなく、ワークショップに参加したり、「シアタールーム」で体を動かして絵本の世界を楽しんだり、文化芸術をより身近に体験できるような事業を行います。

なかのループ+各ループ
(なかのギャラリー)
シアタールーム
多目的ルーム

④ 親も子も思い思いに過ごす【子育て支援機能】

子どもと保護者の方が安心して過ごせる場を提供し、子育て家庭をサポートします。「ベビーループ」では赤ちゃんが大人と一緒に絵本を楽しむことができるほか、子どもが絵本を読んでいる間に仕事ができる「ワークスペース」を設け、大人も子どもも有意義に過ごせるような環境をつくります。

ベビーループ
ワークスペース
授乳室

4. 配置計画

- 中野区 絵本のライブラリー&ラウンジ“loop”は、4つの本棚の輪＝「ループ」からなる「ライブラリーゾーン」と、それらに囲われた中央の「ラウンジスペース」で主に構成されます。本施設を訪れる人々が絵本に包まれ、絵本を通じてつながるという思いを込めた配置計画です。
- 運営事務所や多目的ルームなどの部屋は「個室ゾーン」としてフロアの東側に集約し、広々としたラウンジスペースからどこへでもアクセスしやすいレイアウトを行います。

